

2025 年 10 月 吉日

各 位

公益財団法人木村看護教育振興財団

代表理事 木村 憲司

## 2025 年度ウェブ講演会(無料)のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本財団の事業活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、看護に関する講演会について、2022 年よりウェブ形式にて開催しておりますが、本年も 1 ヶ月間のオンデマンド配信にて実施いたします。講演テーマの設定や講師の人選等については、引き続きこれまで本財団の公募事業の助成を受け、現場の第一線でご活躍中の看護職の方々にアドバイザーボードのメンバーとして参画いただいております。

本講演会の企画意図は、次のとおりです。— 医療の高度化・高齢者の増加に伴い、看護師は医療方針決定や患者を尊重するケアにおいて倫理的な課題に直面することが多く葛藤や苦悩を抱えている。また、2024 年度の診療報酬改定では、入院料の通則に「人生の最終段階における意思決定支援」及び「身体的拘束の最小化の取り組み」が新たに要件として追加され、臨床倫理に関する医療者の関心が高まっている。そこで本講演会では、臨床倫理に携わる専門家を招き、日常的に起こり得る倫理的課題への取り組みや組織的介入に関するグッドプラクティスを学び、倫理的な実践を大切にする組織の風土・文化をつくるためのヒントを得る機会としたい —

テーマは、「グッドプラクティスから臨床倫理をとらえ直す」といたしました。

本講演会の概要は、別紙ポスターのとおりです。本ポスターを看護関係者への告知・周知にご利用いただければ幸いです。講演1は、医療倫理学の専門家である**宮崎大学医学部教授の板井孝彦郎氏**に、臨床倫理の基本的な考え方や組織的なアプローチについて語っていただきます。講演 2 は、**社会医療法人近森会理事・統括看護部長の岡本充子氏**から、臨床倫理に関する組織的活動について、また臨床倫理における課題とそれに対する具体的な取り組みをお話しいたします。講演 3 は、**前石川県看護協会会長の小藤幹恵氏**に、どのようにして臨床倫理を中心に据えた看護実践を根付かせてきたのかを具体的事例に基づきお話しいたします。座談会では、板井先生に座長をお願いし、3 名の先生方のご見識とご経験に基づく臨床倫理のとらえ直しについて語っていただきます。

また本年も本財団と長年交流のある**メイヨークリニック(米国ミネソタ州)**の講演をお楽しみください。同クリニックの臨床倫理相談サービスの活動の実際についてお話しいたします。なお今回も、原語と日本語吹き替えの二言語でご視聴いただけるようにいたしました。

ぜひご視聴くださいますようお願い申し上げます。

敬具